



**We Serve**

336-A-1 R-2Z

# 松山西ライオンズクラブ会報

2026.02.12 No.226



2025~2026 年度 国際テーマのハイライト

ファブリシオ・オリベイラ国際会長テーマ  
「We Serve」(我々は奉仕する)

会長メッセージ

「Lead to Serve, Serve to Lead.」  
(リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ。)



We Serve

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区

336-A 地区 スローガン  
ガバナーズローガン

「輝く未来へウィサーブ」



ガバナーキーワード

「躍進」

松山西ライオンズクラブ 2025~2026 年

会長スローガン

「敬愛の心、笑顔の力でウィサーブ」

基本方針

松山西ライオンズのメンバーがお互いを尊敬し合い、親しみの心を持って行動する一年にしたいと考えます。長い年月にわたって活動してこられたメンバーの方々には敬意を持ってさらなる指導をお願いし、勇気を持って飛び込んでこられた若い方々には、その新鮮なアイデアや感性に敬意を持って受け入れていきたい。そして、笑顔溢れる一年にしたいと思います。笑顔は人の心を和ませ、元気づけ、支える力があります。あの笑顔が見たいから、参加しよう、また頑張ろう、続けよう、そう思える環境づくりを目指し、地域への奉仕を充実させたいと思います。

2025年7月1日



# 合同例会



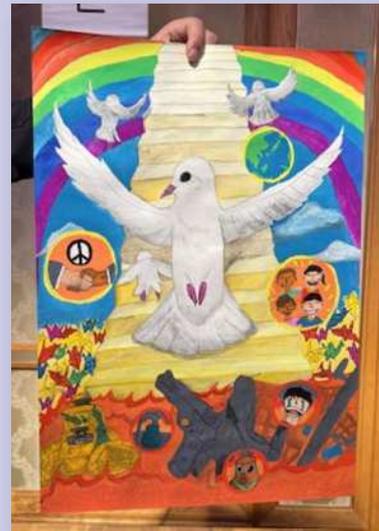
10月23日に松山東ライオンズクラブ(以下東LC)様との合同例会(松山西ライオンズクラブ第1290回例会)が、ANAクラウンプラザホテル松山で、開催されました。この合同例会は2023年に東LCの楠岡誠様と当LCの白石泰祥様の提案で初開催されたもので、本年は3回目の開催となります。

東LCの杉本太一会長、当LCの渡邊秀揮会長のご挨拶から始まり、来賓は東LCから1R-RCの白方基進様、当LCからは1R-青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員の鶴居康行様にご出席いただき、貴重な激励のお言葉を賜りました。懇親会からは、合同ゴルフコンペの成績発表、表彰式のあと、劇団玄喜座の殺陣の公演がありましたが、迫力の演技に見惚れていたなら、両会の会長も飛び入り参加をさせられ、手に汗握る余興でした。



# 平和ポスター

～白い鳩の瞳に見る、未来への希望～



「平和」というテーマに対し、子供たちは純粋な心で向き合ってくれました。今年度は北久米小学校から80点、小野中学校から4点の計84点の作品が集まりました。一枚一枚に込められた子供たちの想いに、胸が熱くなるばかりです。

厳正な選考の結果、キャビネット提出作品(特別賞)には小野中学校1年の吉村日汰さん、金賞には北久米小学校6年の横田翔太郎さん、銀賞には同小6年の高市夏帆さんが選ばれました。なかでも吉村さんの作品に描かれた「白い鳩」の瞳には、見る者を一瞬で引き込む力がありました。そこには、平和を希求する作者自身の真剣な眼差しが重なって見えました。今回の活動が成功を収めた背景には、学校への依頼から表彰に至るまで、渡邊会長の献身的なネットワークがありました。会長をはじめ、ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



青少年委員長 大西行政





# 年末家族例会



今年の年末家族例会は、例年通り、ドレスコードは“仮装”。当日は完成度の高い衣装が次々と登場し、会場を沸かせました。ステージ前での記念撮影では、個性豊かな仮装が一堂に会し、まさに年末らしい特別感。大人も子どもも自然と笑顔になり、「せっかくなら思いきり楽しもう」という気持ちが会場全体にあふれていました。

また、各テーブル対抗で行ったダーツゲームも大盛り上がり。狙いを定めて真剣に投げる姿に歓声上がり、当たっても外れても拍手が起こるなど、テーブルを越えて一体感が生まれました。ゲームを通じて、普段はゆっくり話せない会員同士やご家族同士の交流も深まり、まさに家族例会ならではの温かさを感じる時間となりました。

表彰は「仮装部門」と「ダーツゲーム部門」の二本立て。景品を手にした皆さんの笑顔が印象的で、会場は最後まで笑いと拍手に包まれました。

家族例会は、会員の親睦はもちろん、ご家族も含めてクラブのつながりを実感できる大切な機会です。来年も、参加した全員が「また来たい」と思えるような、明るく楽しい例会をつくっていきたいと思います。





# 歴代会長会



令和8年1月14日ANAクラウンプラザホテルにて、松山西ライオンズクラブの歴代会長会が開催されました。

出席者は歴代の会長方と現執行部で17人です。

渡邊会長の挨拶から始まり、上半期の振り返り、次期第二副会長推薦について報告、今後のクラブ運営についてと議事が進行していき

ました。村上第一副会長の乾杯のあと、会食しながら歴代の会長よりクラブ運営について様々なご意見を頂戴しました。

皆様共通の一番の懸案事項は会員増強です。

入会者がいたとしても退会者が同じだけいれば会員は増えないのだから、勧誘の際のスポンサーの説明や入会後の声かけ等のフォローアップが大事なのは、という意見や、楽しい例会にして例会の出席率を上げる、といった意見を頂戴しました。

現執行部としてはあと半年ですが、今後のクラブ運営に生かしていきたいと思えます。

歴代会長の皆様、有難うございました。



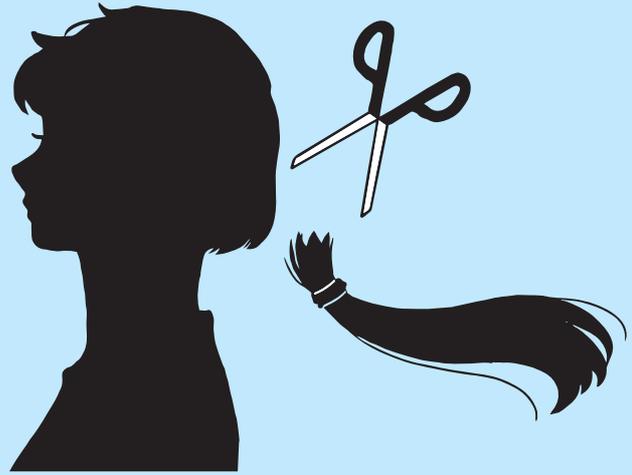
# ヘアドネーション

地方 1年もの髪 中学生寄付 8面

医療用ウィッグに使う髪を寄付するヘアドネーション。長さは35〜40センチが一般的だが、松山市の女子中学生が提供したのはなんと1メートル。「長い髪が欲しい人のために」と13年近くほとんど切らずに伸ばし続けた。病気や事故で髪を失った子どもへ届けられる。



【紙面編集】 藤田陽一郎



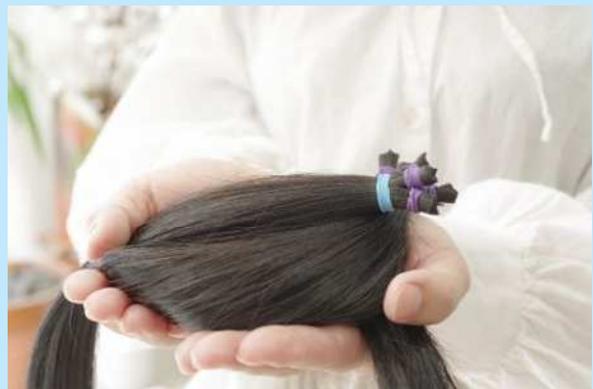
松山の豊島さん(12)

## 1メートルバツサリ 毛髪寄付

「誰かの役に」 12歳初カット



「誰かの役に」12歳初カット。松山市の女子中学生、豊島さん(12)が、1メートルの長い髪を寄付する。この髪は、医療用ウィッグに使う。豊島さんは、13年近くほとんど切らずに伸ばし続けた。病気や事故で髪を失った子どもへ届けられる。



# 東西ゴルフ



## 編集後記

寒さの中にも少しずつ春の気配を感じる季節となりました。第3回となる今回の会報では、会員の皆さまの温かな活動や笑顔が随所に感じられ、改めてライオンズクラブの絆の強さを実感しております。日々の奉仕活動は決して派手ではありませんが、その一つ一つが地域の安心と未来につながっているのだと思います。今後も会員同士のつながりを大切にしながら、無理なく、そして楽しく活動を続けていければ幸いです。次号もどうぞお楽しみに。

徳永 秀家



松山西ライオンズクラブ

■事務局／〒790-0001 松山市一番町4丁目1-11 共栄興産一番町ビル5階 TEL 089-913-1624 FAX 089-934-3100  
Mail: m.nishilc@336-a.org ホームページ <https://matsuyama-nishi-lions.org>

■例会場／ANAクラウンプラザホテル松山 毎月第2・第4木曜日 ■発行日／2026.2.12 ■発行／松山西ライオンズクラブMC委員会 ■印刷／東洋オフプリント(有)